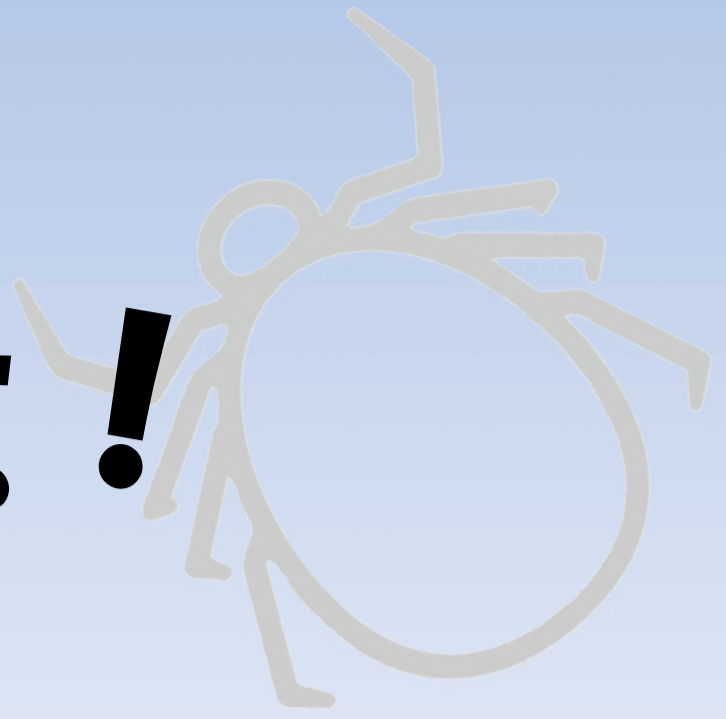


忍び寄る マダニに注意!



マダニとは？

体長3mm～1cmで野外に生息し、人や動物に**吸血**することで成長します。
春から秋にかけて活動が活発になり、人が病原体を保有するマダニに咬まれると、
高熱、意識障害、皮膚の発赤、倦怠感などの症状が現れることがあります。

どんな場面で咬まれやすい？

【咬まれる場面ランキング】

泉佐野保健所調べ

- 第1位 庭作業（家庭菜園、草抜きなど）
- 第2位 山菜とり（タケノコ狩りなど）
- 第3位 農作業（畑作業など）

どんなところが咬まれやすい？

【咬まれる部位ランキング】


泉佐野保健所調べ

- 第1位 下半身（太もも、鼠径部など）
- 第2位 上半身（背中、腕など）
- 第3位 腹部 皮膚の柔らかい部分が狙われます

マダニに咬まれたらどうする？

吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残るおそれがあるため、**医療機関**で処置を受けましょう。また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

マダニに咬まれないための対策

-  マダニが肌に付着しないように肌の露出を少なくする。
-  マダニに有効な成分が含まれた虫除け剤を使用する。
（ディート、イカリジン）
-  ペットにはペット用のダニ駆除剤を使用する。
-  マダニを落とすため、服や体をはたき家の中に入る。



大阪府 泉佐野保健所作成

詳しくはこちら▶▶▶

